

ご両親が診察の付き添いできない場合の  
お子さまの状態の申し送りについて

経過観察や治療方針の決定は、診察による本人の状態の把握以上に、お家での様子の把握が大切です。

ご両親が診察の付き添いできない場合、お子さまをお連れになる方に以下の点を申し送りいただくと診療の質が向上します。

- 夜ねられているかどうか（とくに咳、鼻水、発熱で受診される場合）
  - （よく寝れている・寝ながら咳をしている・鼻づまりや咳で寝付きが悪い・夜中に1、2回起きるがしばらくすると寝付く・夜中に何回も起きる・夜中に何回も起きて大変・夜中に起きて夜泣きが大変・夜中に咳などで苦しくて数十分～数時間起きている・咳や鼻づまりなどが苦しい訳ではないが昼夜逆転して夜中に起きている）
- 水分を摂れているかどうか（とくに吐き下し、発熱、乳児の咳で受診される場合）
  - いつもとかわらず摂れている・いつもと比べて少ない
    - ☆ 吐き下しの場合 1日に        ml くらい（のペース）
- おしっこがでてきているかどうか（とくに吐き下し、発熱で受診される場合）
  - いつもと変わらない・いつもの  $\frac{2}{3}$  くらい・いつもの半分くらい・いつもの  $\frac{1}{3}$  くらい・ほとんどでていない・まったくでていない
- 歩いたり遊べるかどうか（とくに吐き下し、発熱で受診される場合）
  - 走り回る・いつもより元気はないが遊ぶ・1日のうちで遊ぶときもある・1日中遊ばないが、歩くことに支障はない・歩くことはできるが、ほとんど抱っこをせがむ・歩くことができない
- その他気になる点を申し送りください。